



海外グローバル研修課題研究コンテスト

2月22日(金)、海外グローバル研修課題研究コンテストが行われました。高校1年生の海外グローバル研修参加生徒、中学3年生シンカゼミ代表生徒、SGHクラブ台湾班、ラグビー部の渡来君、そしてゲスト校の栃木高校、筑波大学附属坂戸高校が素晴らしいプレゼンを披露してくれました。

高校1年生のコンテストは、以下のような結果となりました。しかし、**結果に関わらず、どの生徒も練習以上に堂々とした姿で発表ができていました。**また、舞台袖では、発表を終えた班が次の班に「頑張ってるね！」などと声を掛ける1コマも。**ライバルとは言えど、お互いの努力を認め合い、尊重し合う絆が垣間見えたのが印象的でした。**

～海外グローバル研修課題研究コンテスト 結果～

1位 8班 “Let’s Reduce the Number of Exotic Fish with Kiero”

2位 3班 “Revitalizing SANO City through International Exchange of Cricket”

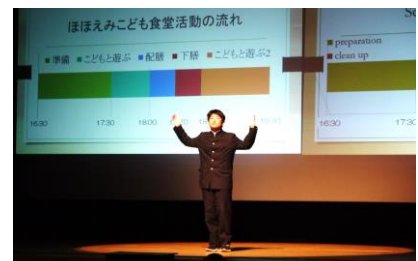
3位 5班 “Activating Rice Farming Using Rice Flour”

Best Presenter 賞 店網 泰吾

Excellent Presenter 賞 大島 彩/尾林 稜太/大門 亮太/山本 寿々



中3の発表。中学生とは思えない堂々とした話しぶりに、高校生も刺激を受けていました。



高1の発表。緊張を感じさせない、生き生きとしたプレゼンで、各々の個性を輝かせていました。



各班工夫を凝らし、寸劇や実演を取り入れるグループもありました。



表彰式



コンテストに関わった全員で記念撮影！達成感に満ちたいい表情です。

○生徒の感想

緊張したけれど、自信を持って発表を楽しもうと、これまでの練習の成果を発揮できたコンテストでした。1位と呼ばれた時は、信じられないほど驚きました。でも、私たちの発表がお客さんに届いたことが、本当に嬉しかったです。UBCでの発表は、更に良いものにできるよう、全力を尽くします。特に、班全体として、質疑応答をもっとスラスラできるようにすること。個人としては、話すスピードに気をつけたいと思います。最後に、応援してくれた方々、協力してくださった先生、そして、ここまで一緒に頑張ってきてくれた班員の皆、ありがとうございました！
8班 班長 知久 愛実

私は、この発表会を通して、普段の学校の授業では学べない力、主にプレゼン力や思考力、リーダーシップなどを身につけることができた。グループ活動では、リーダーとしての自覚を持ち、メンバーの性格や得意を生かしたプレゼンをみんなで作り上げることができた。結果は2位と、優勝には届きませんでした。本気で研究に取り組んでいたからこそ、大きな達成感を感じました。また、メンバーとの絆やグループ活動の面白さなど、結果よりももっと重要なことに気付くことができました。この経験を生かし、私たちのプレゼンで次はカナダの方々を魅了したいと思います。
3班 班長 店網 泰吾

このコンテストは、自分にとって人生で1番の緊張と不安を感じ、たくさんの人から応援していただいた時間でした。舞台に立つ前は不安と緊張で胸が一杯で、食事も喉を通らない程でした。今までたくさんの努力をしてきた分、その努力が水の泡になってしまうのではないかととても不安でした。しかし、その中で多くの人に支えられてこの発表ができていたのだと再認識することができました。アンケートにお答えいただいた方を含めると、2000人近くの人たちの協力があって完成した研究だと気づきました。本当にありがとうございました。
5班 班長 熊倉 幸寛

やりきった、という達成感がすごく大きいです。リハーサルの時は、時間内に終わることができなくてすごく不安になりましたが、皆で話し合っって本番では何とか5分以内に発表を終えることができて良かったです。この日のために、米粉を使ったスイーツを作ったり、パワポを皆で作ったり、頑張った甲斐がありました。
Excellent Presenter 山本 寿々

今回の発表は、少し悔しい結果となってしまいました。班全員で協力し、優勝を目指して準備をしてきましたが、2位となってしまいました。しかし、Excellent Presenter 賞を獲ることもできたので、プレゼンの仕方では満足のいくものになったと思います。ただ、重要な部分を強調して発表することがあまりできていなかったため、今後はその点に気をつけて、よりよい発表にしていきたいです。
Excellent Presenter 尾林 稜太

海外グローバル研修に参加する高校1年生は今後、カナダで現地の高校生に向けて、優勝した8班は、「カナダの東大」と呼ばれるプリティッシュ・コロンビア大学で大学生に向けて発表を行います。コンテスト後もプレゼンをパワーアップさせて、カナダでの発表に臨んでくれることでしょう。